

平成30年度 今治市障害者地域活動支援センターときめき 施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市障害者地域活動支援センターときめき
所在地	愛媛県今治市天保山町2丁目2番地1
指定管理者	<p>名称 社会福祉法人 今治福祉施設協会</p> <p>代表者 理事長 胡井 裕志</p> <p>住所 愛媛県今治市南宝来町1丁目9番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL:0898-36-1527</p> <p>E-mail: syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>施設運営上、必要な条例・規則、仕様書などを理解し業務を行っています。</p> <p>利用者には初回の来所時に施設の利用方法をわかりやすく説明しています。</p> <p>利用上のルールを説明することで、気持ちよく利用できる施設づくりを心がけました。</p>	A	<p>職員は、条例・規則、仕様書など施設の設置目的や管理運営方針を理解して運営できております。また利用者にも運営方針を提示をして、周知も図られております。</p>
利用状況	B	<p>相談支援事業では職員1名欠員でしたが、計画相談、訪問・個別支援会議など、ときめきをご利用されていない方にも積極的な関わりをもつことができました。また、個々の相談も疎かにすることなく丁寧に対応いたしました。</p> <p>地域活動支援センター事業についても昨年度以上の実績に努め、新規利用者の登録にも取り組み、継続してご利用していただくことができました。これからも魅力ある施設運営を行い、1人でも多くの方が継続して利用できる施設にするために、より一層努めて参りたいと思います。</p>	B	<p>相談支援事業は計画より職員1名欠員ですが、仕様書の基準以上の配置がされております。クリニックや他の相談事業所など関係機関と連携を強化することで、新規登録者数が17名と大幅な増加に繋がっております。また個々の相談対応が信頼に繋がっている結果、相談件数は500件の増加、地域活動支援センター事業の延利用人数も約600人の増加となっており、利用者にとって利用しやすい施設となっております。引き続き魅力ある施設としての管理運営をお願いします。</p>
事業収支	A	<p>指定管理料と自立支援費収入等のその他の収入は、前年度なみに確保できました。事務費支出、事業費支出ともに前年度より支出を抑え、施設運営上必要経費の予算執行に努めました。</p> <p>常にコスト削減に努め、無駄のない予算を目指しています。</p>	B	<p>前年度並みの収入が確保されております。人件費が微増したものの、事務費の削減に努めたことから、支出全体では前年度を下回っております。引き続き経費節減に努め、適切な運営をお願いします。</p>
管理運営体制	A	<p>事業計画に基づいた施設運営を行いました。</p> <p>定期的に朝礼やミーティングを行い、職員間の意思疎通を図りました。</p> <p>職員は希望する研修に参加し、スキルアップを図ることができる体制づくりをしています。</p>	B	<p>複数の職員が社会福祉士、精神保健福祉士の両方の資格を有し、仕様書に規定した以上の有資格者が配置されていますが、計画より相談員が1名少ないため、他の職員の負担が大きくなっています。また定期的に朝礼、ミーティング、ケース検討会を実施するなど利用者の情報共有がしっかりとできています。また派遣研修の内容を口頭や書類で閲覧し、他の職員へもフィードバックができております。</p>
管理運営業務	A	<p>開館日は職員が毎日、そして月1回は利用者も参加して清掃を行いました。業者による清掃を月2回実施し、施設的美観維持に努め、利用者が安全に利用できるような心がけました。衛生面にも気をつけ、廃棄物処理は業者に委託し適切に処理しています。また、日点検を行い、設備・備品等に不具合があれば適宜修繕し、安全面にも配慮しました。</p> <p>利用者が利用しやすい管理運営を行いました。</p>	A	<p>仕様書に定められた基準に沿って、適正に実施されています。特に清掃業務では月に1回、利用者も参加して敷地内や周辺のゴミ拾いを行うことで、施設を大切に利用する意識が生まれていると考えます。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	A	<p>窓口・電話対応共に利用者に対して丁寧な対応を心がけました。休館日も電話を転送し、対応しました。広報紙を定期的に発行し、登録利用者・各関係機関に配布して積極的に広報活動を行いました。わかりやすいパンフレットを作成し、来所される方に対して丁寧に説明しました。</p>	B	<p>広報誌においては、職員と利用者が月に1回編集会議を開催し、利用者の意見を取り入れた広報づくりに取り組んでおり、年2回発行し、関係機関77施設に配布することで、施設のPRができております。</p>
その他業務	A	<p>管理運営に必要な業務全般を適切に実施しました。マニュアルを整備し、緊急時に対応できるようにしています。事故の防止を呼びかける事はもちろん、保険に加入し事故が発生した場合に対応できるように努めました。また、個人情報保護に留意し、利用者にも書面で説明し同意を得ています。開館日・利用時間を遵守し、公平に利用できるようにしました。</p>	B	<p>災害、事故、緊急時の対応マニュアルは整備されており、防火訓練、避難訓練も実施できております。万が一の備えとして、水3リットル×30名×5日分が備蓄されております。閉館日も電話転送し、緊急の相談に対応できる体制をとっています。</p>
修繕業務	A	<p>施設の老朽化が目立つ場所、又利用者の安全確保また使用上の衛生管理の為に修繕等を重視し、施設修繕も必要最小限度での修繕としました。そして、利用者が安心し、快適に過ごせる施設維持管理を実施しました。</p>	B	<p>利用者の安全を第一とした修繕がされています。応急対応としての修繕のみならず、事前の修繕を実施し、利用者への影響が小さくなるよう対応をお願いします。</p>
備品管理業務	A	<p>備品管理を大切にまた有効に使用し、利用者の充実したサービス提供を検討・協議しながら、安心・安全な利用ができる事業の運営を遂行しました。</p>	B	<p>利用者の要望、事業の円滑な運営のために必要な備品購入が実施されております。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	—	<p>目的外の使用申請はありませんでした。</p>	—	<p>該当ありません。</p>
自主事業	A	<p>利用者が楽しめるような事業内容を心がけました。利用者の反応や申し込み状況を見て、行事の実施を柔軟に対応しました。新たに開催された事業もあり、利用者の選択肢を多くし、幅広く利用していただけるように工夫しました。</p>	B	<p>利用者のニーズに応じた、多様な教室や講座を実施しています。また図書館などで利用者の作品展示(書道・絵画など)をすることにより、施設の広報啓発ができております。引き続き、更なる施設の利用促進のため、魅力ある自主事業の検討をお願いします。</p>
地域団体との連携	B	<p>積極的に関係機関や地域の団体と交流するように努めました。関係機関・地域団体との連携のおかげであると思います。他の事業についても積極的にボランティア等に声をかけを行い、施設や利用者との交流の機会を増やしました。積極的に広報啓発を行いました。</p>	B	<p>夏祭り(台風のため中止)、ボーリング大会、もちつき大会など地域と交流する機会を創出できています。またボランティア団体が各種行事、講座に参加協力してもらうことで、施設の円滑な運営に携わってもらっています。引き続き関係団体と連携を深めた施設運営をお願いします。</p>
利用者アンケート	A	<p>登録者全員にアンケートを送付し、47%の回答を得ました。未回答の中には現在利用していない登録者も多く、回答率を上げるために来所された利用者へ直接書いていただく等を行いました。今後も工夫が必要と感じています。結果は、今治市に報告するとともに、利用者にも郵送し報告しています。多くの方からいただいたご要望を元に、女性の利用者が参加しやすい環境づくりや行事の見直し等を今後も取り組んでいきます。今後のよりよい施設運営を行うためにも、小さなことから見直していきたいと考えています。</p>	B	<p>送迎サービスを週3回から適宜対応に変更したり、女性が参加しやすい環境づくりに取り組むなど、利用者の要望に対応した取り組みができております。また登録者に直接アンケート用紙を手渡し、その場で記入してもらうなど、回収率向上のための取り組みはできておりますが、更なる回収率向上のための工夫をお願いします。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	A	<p>事故等の予測できない事態に対応できるよう保険に加入しています。</p> <p>日頃からけがや事故をしないように利用者に注意を呼び掛けています。</p> <p>苦情や意見を伝えやすいように玄関に意見箱を設置しています。</p> <p>毎年利用者アンケートを実施し、意見をきき要望を取り入れるように努めました。</p> <p>アンケートは結果や回答をわかりやすく書面にし、利用者に送付しました。</p>	A	<p>昨年は事故、苦情等ありませんでした。また玄関に意見箱を設置し、苦情や意見を言いやすい環境づくりにも取り組んでおります。引き続き、利用者の意見に耳を傾けた施設運営をお願いします。</p>
指定管理者の経営状態			<p>貸借対照表、正味財産増減計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。</p>	

総合コメント（市）

障害者地域活動支援センター「I型」として、精神障がい、身体障がい、知的障がいのある方を対象に、相談支援、計画相談支援を行っています。現在は、精神障がいの方の利用が多く、家からほとんど出ない方の社会参加の第一歩として、また就労している方にとっても日頃疲れた精神を癒す場として仕事前または仕事帰りに立ち寄り、利用者同士の交流の場として利用されています。

自主事業を多く開催し多様なニーズに対応できるほか、イベントを通じ、利用者、地域、各種団体をつなげる役割を果たしています。

今後も利用者ニーズを把握し、よりよい施設運営をお願いします。

指定管理者選定審議会による総合評価

B

スタッフが少ないなかで既存施設を工夫しながら活用され、事故もなく、登録者を含めた利用者が増加している点は評価できます。また3障がい者（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者）が交流、利用できる場としての必要な支援体制を整えて、利用者に安心安全な居場所作りに尽力されていると思います。これからも利用者サイドに寄り添った支援の継続をお願いします。また女性を含めた利用者数を増やしていけるよう努力して欲しいと要望します。

ただ、スタッフの人数が限られているとはいえ、従来のやり方を変えることなく実施しているように見える部分もありますので、今後は新しいことへの転換やチャレンジ精神をもって事業運営をしていただき、地道な活動により、一層地域活動支援センター機能を果たしてもらいたいと思います。